

重点取組分野	令和 元 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
生きてはたらく知	①重点研の研究テーマを「互いのよさを認め合い、生き生きと学び合う子を目指して」と設定し、外国語科を中心に、言語活動を充実させた授業展開を工夫することで、豊かな思考力を身に付けるようにする。②毎時間のめあての設定と振り返りの充実を図り、児童の学びのサイクルを確立する。		
豊かな心	①認め合う・高め合う学年・学級経営の充実を図り、学年・学級の目標と目標達成に向けた具体的な手だてを提示する。②たてわり活動を一層充実させたり、全校遠足やたてわり給食などを行ったりして、異年齢でのつながりを深める。		
健やかな体	①新体力テストの結果を体育学習へ活用し、体力の向上を図る。②朝の「キラキラタイム」(短縄跳び・持久走中心)で基礎体力を養う。③さわやかスポーツタイム(横浜市体育協会等の指導)や特別クラブ(スーパータッチ)などを通して、運動に親しむ資質や能力を育てる。		
児童指導	①生活目標を見直し、年間を通して指導する視点を明確にする。②スタンダードを活用し、全教職員の共通理解を図り、組織的な指導体制を整備する。		
安全管理	①学校防災計画を見直し、地震発生時の行動基準や津波発生時の対応について共通理解を図る。②PTA主催の「学校に泊まろう」で、保護者・地域とのふれあいや防災を意識した活動を行う。		
特別支援教育	①児童一人ひとりを丁寧に見取り、児童や保護者の願いに寄り添う手立てを構築する。②個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、スクールカウンセラーや外部関係機関を活用して、個々の特性に応じた指導を行う。		
地域連携・学校運営協議会	①「たてわり冬まつり」では、PTAボランティアのみならず、地域の多くの方々の力を借りて運営することで、児童が地域を基盤として生活していることを意識づける。②学区見守り隊や学校運営協議会などの組織と連携を保ち、開かれた学校づくりを推進する。③学校支援・地域連携本部「なみよんFANくらぶ」との密な連携を図る。		
いじめへの対応	①児童、教職員、保護者、地域がそれぞれの立場で、いじめの根絶を目指す。②「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を授業や学校行事の場面で活用する。③児童一人ひとりの状況についての記録を作成し、校長をリーダーに、担任や各学年教諭、児童指導専任教諭からなるチームによる支援を進める。		
人材育成・組織運営(働き方改革)	①校内メンターチーム、重点研究会、学年ブロック研究会の充実を図り、日々の授業改善を行い、授業力・教師力の向上に努める。②運営組織を部会に分け、主幹教諭が各部会の活動を推進して学校運営を担い、マネジメント能力の向上を図る。主幹教諭のリーダーシップのもと、校務を分担した教職員一人ひとりが主体的に力を発揮できるようにする。また、組織力を生かした仕事量の軽減を図る。		
ブロック内評価後の気づき			
学校関係者評価			

重点取組分野	令和 2 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
生きてはたらく知	b1		
豊かな心	b2		
健やかな体	b3		
児童指導	b4		
安全管理	b5		
特別支援教育	b6		
地域連携・学校運営協議会	b7		
	b8		
いじめへの対応	b9		
人材育成・組織運営(働き方改革)	b10		
ブロック内評価後の気づき			
学校関係者評価			

重点取組分野	令和 3 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
生きてはたらく知	c1		
豊かな心	c2		
健やかな体	c3		
児童指導	c4		
安全管理	c5		
特別支援教育	c6		
地域連携・学校運営協議会	c7		
	c8		
いじめへの対応	c9		
人材育成・組織運営(働き方改革)	c10		
ブロック内評価後の気づき			
学校関係者評価			

中期取組目標振り返り	
------------	--

中期取組目標振り返り	
------------	--

中期取組目標振り返り	
------------	--